

研究名：小児救急外来における point-of-care ultrasound の Quality Assurance を目的とした単施設記述研究

1. 研究の目的

救急外来のベッドサイドで超音波検査 (point-of-care ultrasound; POCUS) を行った患者さんを対象として、今後の POCUS の質の保証や改善に繋がる情報を得ることを目的として研究を行います。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：2023年6月1日から2024年5月31日の期間に当センターの救急外来を受診し、救急外来滞在中に point-of-care ultrasound (POCUS) もしくは小児放射線科医による超音波検査を行った18歳未満の患者さんを対象とします。
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年5月31日
- ③ 研究方法：上記の患者さんを対象として、後方視的にデータを収集し、POCUS を行った患者さんと小児放射線科医による超音波検査を行った患者さんの特徴について検討します。POCUS を行った患者さんについては、走査者の職位的内訳、走査時間、保存画像数、検査画像の保存の有無、走査部位ごとに定められた検査画像の保存の有無、電子カルテのテンプレートの記入の有無、検査時の指導者の有無、初診時の POCUS で診断に至らず後に緊急疾患を診断された例の頻度と内訳などについて検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

生年月日、性別、診断、転帰、超音波走査に関連する情報（走査部位、走査時間、保存画像数、検査画像の保存の有無、走査部位ごとに定められた検査画像の保存の有無、電子診療録上のテンプレートの記入率、走査者の職位、走査時の指導者の立会いの有無、超音波診断）等。取得した情報は研究責任者のみが取り扱います。

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報とは調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年1月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 救急診療科 富田 慶一
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7977）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 救急診療科 富田 慶一